



THEY'S MEN'S CLUB OF FUJI-GOKO

創立 2003年3月12日 3041-1, UCHINO, OSHINO-MURA,
MINAMITSURU-GUN, YAMANASHI-KEN,
チャーターナイト 2003年5月10日 PHONE 0555-84-4233

2017年 富士五湖クラブ 12月プリテン 第157号

国際会長：Henry Grindheim（ノルウェー）

「ともに、光の中を歩もう」

アジア太平洋会長：Tung Ming Hsiao（台湾）

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事：栗本治郎（熱海）

「広げようワイズの仲間」

あずさ部長：大野貞次（東京西）

「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」

富士五湖クラブ会長：原 淑子

『広げよう 富士五湖の輪』

会長	原 淑子
副会長	後藤明久
副会長	望月 勉
書記	後藤昭子
会計	武藤五子
会計	望月喜代子
直前会長	原 俊彦

2017年12月2日(土)17時~

於：東京 YMCA 山中湖センター

開会点鐘 江原 会長

会長あいさつ

ワイズソング&ワイズの信条

今月のハッピーバースデー&アニバーサリー

ニコニコBOX

YMCAのうた

閉会点鐘 原 淑子会長

今月のハッピーバースデー

お誕生日の該当はありません。

アニバーサリー

10日 後藤明久&昭子夫妻

おめでとうございます。

11月のデータ

会員数	11名
例会出席	10名
ゲスト	1名
例会出席率	91%
ニコニコBOX	0円
累計	22,488円



伊豆高原より富士を望む

山梨 YMCA のバザーに出店

・・・富士五湖ファンドがスタート

11月3日、恒例の山梨 YMCA バザーが開催されました。今年はいこれまでの「たから釣り」に加え新たな試みとして「クリスマスグッズ」を制作・販売しました。

これは、富士五湖クラブのメインプログラムである「身障者フライングディスク大会」が年ごとに盛会になり、経費が増加しクラブ会計を健全化する必要に迫られた為です。

今回は12月のクリスマスを前に、友人や家族向けのプレゼントとして・・・マグカップ、牛革パステース、ペーパーウェイト、キャンドルBOX、一輪挿し、タイルマグネット、どんぐりストラップ、石ころ絵画・・・など今まで見た事もない珍しいグッズを約200点(@100～1,200円)制作・販売しました



グッズの制作は原(俊)ワイズ・・・3年ほど掛け独自に開発した技術を使っの一点モノばかり。

しかも国立博物館でのミュージアムショップ価格の50～60%(ワイズ価格)と割安に設定。

今回のバザーでの売り上げは山梨 YMCA へ献金した後、残り全てを富士五湖基金として積み立てました。

これを機に今後は各クラブの「周年行事、誕生日プレゼント、記念品交換」用として積極的にPRして行く事になりました。

参考までに、今回出品したグッズの写真(一部)を掲載しますので、興味のある方は原(俊)ワイズまでお問い合わせ下さい。

e-mail: tosy@tb3.so-net.ne.jp

携帯: 090-2559-3675

おもちゃ屋さん15年

望月勉

11月3日、文化の日、今年も甲府YMCA会館で毎年恒例のYMCAバザーが行われました。富士五湖クラブからは、15年連続のおもちゃ屋さん、三浦さん特製の豆餅、原さんが提供製作してくれた、今年から始める富士五湖クラブファンドの多種多様なグッズと3種類の店を出しました。大変良い天気に恵まれ、お客さんも去年よりアップしました。特に原さん夫妻は、2人で頑張っていたいただき、富士五湖ファンドの明るい未来を感じさせてもらいました。三浦さん豆餅も、早々に売り切れしました。宝つりのおもちゃさんは、子供の数が年々少なくなっているため、スタートはかなり苦戦しましたが、最後まで頑張って目標をクリアしました。富士五湖クラブからは、後藤夫妻、原夫妻、望月2名、武藤さん、マキちゃんの8名が参加しました。YMCA会館も移転が決定し、来年がこの場所が最後なるかと思うと、15年連続で出店してきた事に富士五湖クラブとして誇りに思い、また来年も参加したいと強く思った一日でした。



恒例のおもちゃ屋さん豆餅販売



今年からのグッズ販売

充実した伊東例会

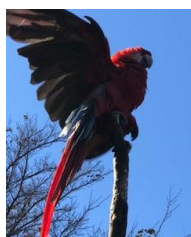
三浦洋美

富士五湖ワイズメンの須藤さんが伊東に越してから毎年行われている伊東例会、行くたびに新しい発見や驚きがありとても充実の二日間でした。

例会では、来年京都洛中とのDBCにおいての話し合いが主となり、活発な論議が交わされました。心に残る締結式となることと思います。



伊東観光においては、須藤さんのお薦めの伊豆シャボテン動物公園のカピバラの露天風呂に癒され、象牙と石の美術館においては、想像もできない技術の素晴らしさに感動を覚えました。



なによりの楽しみの昼食は、一日目は「本家鮎屋」の美味しいお刺身と金目鯛の煮つけを堪能。

二日目は海が一望できる崔如琢美術2階にあるレストランで美味しいイタリアンを頂きました。

何度訪れても飽きない伊東、須藤さんいつもありがとうございます。あ〜楽しかった(*^。^*)

参加者：原 2、望月 2、三浦、茅野、須藤、後藤 2

ゲスト：甲府 2 1 茅野パパ

〈山梨 YMCA だより〉

露木淳司

2017 年が終わろうとしています。YMCA の一年を振り返ってみましょう。2 月に立ち上げた発達障害児のための放課後等児童デイサービスは、3 月から毎月計ったように 3 名ずつ利用者が増えました。

秋に入って 19 名に達し、おかげ様で収支差も得られるようになり、ほぼ軌道に乗ったと言えます。

プライムタイムと呼ばれる学童保育も順調で、下石田の広大な公園に隣接する新拠点、南西望みの家の使用スペースが 9 月から拡大されました。そして、介護保険事業「ぶどうの木」は年間を通じて利用者が 15 名定員を満たすようになり、安定した運営が可能になっています。夏休みなどに行うわいわい地球塾やキャンプにも新規の子供達が大勢集まり、YMCA の利用者は確実に増加しています。

そして、全国的にはブランディング元年と呼ばれ、ロゴマークやキャッチフレーズ、印刷物や看板、

ユニフォームなどが一新されました。ワイズメンの皆さんと続けてまいりましたチャリティランもなんと 20 回目を数えるに至りました。そしてバザーは 57 回ということで間も無く還暦を迎えます。

こうして無事一年を終えることができるのも、ひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物です。明るく 2018 年も引き続き YMCA 運動の火を灯し続けさせていただきますよう何卒よろしくお願い致します。

特に来年は道路拡幅に伴う新会館建設計画が大きく進展する見込みですので、ぜひお楽しみにお待ちください。

*あれやこれやはお休みします。